

工事名: 緊急水災害対策排水施設整備事業(渋井川)設備工事		
No.	質問事項	回答
1	入札参加資格の「…ポンプ(φ1,000以上)の製作の施工実績」とは、ポンプを自ら製作した実績のみと考えて宜しいでしょうか。(ポンプを購入施工した実績は対象外)	貴見のとおりです。
2	現場着手時期について 現場着手時期は、いつ頃を想定されてますでしょうか。	設備の据付開始時期は、躯体が完成する令和5年9月を想定しています。
3	配置技術者について 配置技術者を、製作期間と据付期間で分けて配置する事は可能でしょうか。	可能です。 ただし、詳細については、受注後の協議によるものとします。
4	見積徴収された単価の公表は御座いますか。	公表はしておりません。
5	本工事費内訳書P6(設計書P6) 電気溶接機について、運転日当りの標準運転時間は5時間でよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。
6	本工事費内訳書P6(設計書P6) 機械経費について、雑器具損料は別途計上されていないと考えてよろしいでしょうか。	金抜き設計書のとおり積算してください。 当初設計と差異が発生する際は、別途協議の対象となります。
7	第26号、第27号施工単価表 用排水ポンプ設備輸送費および水門設備輸送費はどちらも新設工事輸送費を適用されていますか。修繕工事輸送費を適用されている場合は対象設備重量をご教示下さい。	輸送費の適用に、「新設」又は「修繕」とする適用はありません。 用排水ポンプ設備輸送費は「ポンプ吐出量」、水門設備輸送費は「扉体面積」により積算しています。
8	第28号施工単価表 除塵設備輸送費について、対象設備重量をご教示下さい。	積算における対象設備重量は21.2tです。

工事名: 緊急水災害対策排水施設整備事業(渋井川)設備工事		
No.	質問事項	回答
9	第29号施工単価表 用排水ポンプ設備 据付材料費率について、水用小配管、低圧受電等の補正は適用されていますか。	積算における水用小配管の区分は「ステンレス管」、受電電圧の区分は「高圧受電」としています。
10	第35号施工単価表 付帯設備(受変電設備) 据付材料費率について、低圧受電補正は適用されていますか。	積算における受電電圧の区分は「高圧受電」としています。
11	ポンプ全揚程について 特記仕様書P20では「4.4m(計算による)」と記載されています。図面2/20に記載の水位条件(+各部損失)より全揚程は5.0m程度となります。全揚程4.4mの決定根拠となる水位条件資料の支給をお願いします。	ポンプ全揚程は「4.9m」で計画しています。ただし、最終的な全揚程は、受注者において計算のうえ、双方協議により決定することになります。  ※全揚程は、内水位(9.572m)と外水位(13.116m)の差に、吐出樋管やフラップ弁などの損失水頭を考慮して算出しています。
12	自動除塵機の塗装仕様について 自動除塵機及び架台、引上装置、引上装置架台は塗装と考えて宜しいでしょうか。	ステンレスを使用する箇所は「酸洗い」、その他の部材を使用する箇所は「塗装」を行うことを基本としています。
13	水位計(内水、外水)仕様について 特記仕様書P54 機器仕様(14)水位計について、使用液質に「河川水」とございますが、「淡水」と考えて宜しいでしょうか。	貴見のとおりです。
14	準拠規格について 特記仕様書P.2とP.10の2箇所に記載がありますが、優先順位をご教示ください。	優先順位はありません。
15	特記仕様書P.14 17.その他に記載されていません「関連工事、機械設備工事受注者」について、工事内容と工期をご教示ください。	「関連工事、機械設備工事」の工事内容及び工期は以下のとおりです。  ・ 第21-41380-0321号河川災害復旧助成工事(樋門工) … 福島県発注の樋門・樋管工事、 受注者:堀江工業㈱、工期:R4.3.7~R5.12.28  ・ 緊急水災害対策排水施設整備事業(渋井川)躯体工事
16	ローラゲート電動機出力について 特記仕様書P.21では「2.8kW程度」と記載がありますが、単線結線図では「3.2kW」と記載があります。どちらが正しいのでしょうか。	電動機出力は「2.8kW」で計画しています。ただし、最終的な電動機出力は、受注者において計算のうえ、双方協議により決定することになります。

工事名: 緊急水災害対策排水施設整備事業(渋井川)設備工事		
No.	質問事項	回答
17	自動除塵機駆動装置について 特記仕様書P.29 2.仕様(7)駆動装置有(SUS304)と記載がありますが、駆動装置カバーが有とし、カバー材質がSUS304と考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。
18	柱上気中開閉器 定格電流について 特記仕様書P.38では「200A」と記載がありますが、単線結線図では「300A」と記載があります。どちらが正しいのでしょうか。	柱上気中開閉器の定格電流は「300A」で計画しています。
19	光成端箱について 特記仕様書P.46に記載がありますが、設計書には未計上です。 また、計装フローシート内のシステム系統図にも図示されていません。 本工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。	金抜き設計書のとおり積算してください。 当初設計と差異が発生する際は、別途協議の対象となります。
20	監視制御項目一覧について 特記仕様書P.50に記載があります「別紙-1.監視制御項目一覧」をご提示ください。	「別紙-1.監視制御項目一覧」は「計装フローシート」と読み替えてください。
21	水位計(内水、外水)水路深さについて 特記仕様書P.54では「内水 4400mm 外水 9450mm」と記載がありますが、ポンプゲート一般図では「内水 5100mm 外水 10150mm」と図示されています。 どちらが正しいのでしょうか。	水位計水路深さは「内水 5100mm、外水 10150mm」となります。
22	非常用発電設備について 特記仕様書P.55に「非常用発電設備の設置を予定していることを考慮した施工をすること」と記載がありますが、将来非常用発電設備を接続できる端子を低圧分岐盤に設けた盤の設計製作を行うことでよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。 詳細については、受注後の協議によるものとします。
23	ポンプ操作設定水位について 特記仕様書P.58に各運転状況の設定水位が記載されていますが、各項目とも渋井川の設定水位が2種類記載されています。 どちらが正しいのでしょうか。	設定水位の右側は「渋井川」、左側は「金子沢」になります。
24	県側設備の信号入力について 特記仕様書P.58に「県側設備の樋門や水位計の信号を入力する予定」と記載がありますが、本工事範囲外とし、信号入力が決定した場合、設計変更対象と考えてよろしいでしょうか。	このことにより工事内容に変更が生じる場合は、別途協議の対象となります。

工事名: 緊急水災害対策排水施設整備事業(渋井川)設備工事

No.	質問事項	回答
25	既設遠隔操作監視システム改造について 計装フローシート内のシステム系統図には既設システムの改造部分に着色がありますが、設計書には未計上です。 本工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。	金抜き設計書のとおり積算してください。 当初設計と差異が発生する際は、別途協議の対象となります。
26	吐出水槽内ステージについて 機器配置平断面図の断面図に図示されています吐出水槽内ステージに着色がありますが、設計書には未計上です。 本工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。	金抜き設計書のとおり積算してください。 当初設計と差異が発生する際は、別途協議の対象となります。
27	最低制限価格算出の際、『機器費・据付間接費・設計技術費』は、『直接工事費・共通仮設費・現場管理費・一般管理費』の4費目のうち、どの費目に含まれているのかをご教示ください。	回答できません。